

SAGAMIHARA GREEN

URL <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>

相模原市まち・みどり公社機関紙
さがみはらグリーン

★「さがみはらグリーン」は、まち・みどり公社本社（けやき会館内）をはじめ、市内の市立公園や公民館、図書館等に配架しております。

Vol.52 2015.09

- 2ページ▶サクラ特集02 「日本一の桜の里づくり」を目指して
相模原市さくらさくプロジェクト
- 3ページ▶子や孫の世代を引き継ぐ、みどりの保全活動にご協力を!!
- 4ページ▶市内の動植物を訪ねて

暮らしを彩るボタニカル・ライフ ～ローズマリーで夏の疲れを吹き飛ばそう!～

ガーデナー 志村みか氏

ローズマリーは、地中海沿岸地方原産の常緑性低木のハーブで、ラテン語で「海のしずく」の意味を持つ、「ros marinus」を語源とする地中海を代表するハーブです。記憶力をシンボルとする若返りの妙薬として知られています。

ローズマリーの芳香は、血液の循環を促し、心身の不快感を一掃する助けになるともいわれています。集中力アップや神経衰弱予防などに役立ち、老若男女によい影響を与えるローズマリーティーは、目が覚めるような刺激的な香りが特徴ですが、香りに比べるとくせが少なく



飲みやすいでしょう。心身の疲労を癒し、脳の働きを活性化して記憶力や集中力を高めます。

※高血圧、妊娠中の方の多量摂取、長期飲用は避けてください。

“ローズマリー”の種類

- ・成長すると高さ2メートルにも及ぶ「立性（たちせい）」
- ・草丈が30センチほどで地を這うように広がる「匍匐性（ほふくせい）」
- ・草丈が30～80センチほどの「半匍匐性（はんほふくせい）」があります。

どれも丈夫で乾燥に強く、手軽に育てられ、花色も水色～青、ピンク、白などいろいろあるので、お庭やベランダの彩りになります。

リースやサシェ※としてクローゼットにかければ防虫効果も期待できます。

※乾燥させたハーブや香料を入れた香り袋



公益財団法人 相模原市まち・みどり公社は、地域のために活動する自治会を応援しています。

サクラサクサガミハラ 特集 02

市の花「桜」による地域づくりを進め、 「日本一の桜の里づくり」を目指して ～長野県伊那市～

今回は「天下第一の桜」と称され、さくら名所100選にも選ばれた長野県伊那市の高遠城址公園内のタカトオコヒガンザクラ（長野県天然記念物）をはじめ、長野県内外のサクラの保護育成に携わっている桜守の稲邊謙次郎氏から桜守について話を伺いました。

平成28年に長野県で開催される「全国植樹祭」では、固有種としては唯一「タカトオコヒガンザクラ」（写真）が皇后陛下のお手植えに選定され、現在3人の「桜守」が慎重に育成している。

「桜守（さくらもり）」とは・・・

1940年代から盛んに植樹されてきた各地のサクラはどのように育っているか、植え替えは進んでいるか、貧相な姿に変わってはいまいか・・・サクラを守るプロフェッショナルとして各地域のサクラの保護にあたるのが「桜守」である。



国の史跡指定となっている高遠城址公園（伊那市）には三人の「桜守」がおり、園内約1,500本のサクラの保護育成を行っている。このサクラ「タカトオコヒガンザクラ」は、長野県の「天然記念物」であるため、剪定等の手入れについても県への届け出が必要であるほか、現状改変を不可とする国史跡においては、土壌の掘り返し等も禁止されている。

ある意味面倒な制約がある中での「桜守」活動は、高遠城址公園独特の手法を確立させている。

【桜守のポリシーの統一 ～ 野生生物との共生】

「どんな生き物でも殺さない」は最低ラインの共通認識である。殺虫剤の散布は行わない、草は抜かない、サクラを生かすために他の樹木を除去しない等々。結果、数多くの虫や鳥や里山の動物たちが生息している。



【サクラの世代交代の手法】

国の史跡では、地下部分を掘り返せない。枯れそうなサ

クラさえ植え替えは不可能であるため、次世代の芽を見逃さず養生する、桜守独特の「世代交代の手法」が編み出され、最高樹齢140年も可能になっている。

【深夜の「雪落とし」と徒歩15分圏内の住まい】

降雪時、梅雨時、台風時期には昼夜なく見回り、特に、降雪時の深夜の「雪落とし」作業は、ひと冬に数回行われている。したがって桜守は、公園から徒歩15分以内のところを居住地としている。



【観るサクラ】から「保護する（育て観る）サクラ」に・・・

伊那市内には、研修を受け、季節ごとの手入れの基本を学習した「地域桜守」が組織され、地元住民と共に地域の見守り役としての役割を果たしている。休日には、我々「桜守」と連携作業にもあたる。

また、桜守と行政機関が協働し、桜守が相談・指導役となって「日本一のサクラの里づくり」を推進しており、この活動を通じて、保育園児から中高年までの幅広い世代がサクラに関わっている。素晴らしいサクラにするために、皆の考え方を少しでも近づけようと、とりまとめの苦労は、若い桜守には荷が重いので、年配の桜守の出番が必要とされている。



桜守 稲邊謙次郎

広告

相模原造園協同組合

<http://www.sagamihara-zouen.jp/>
TEL : 042-773-8977 FAX : 042-773-5051

相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています。

お庭のお手入れや
緑化工事など、
お気軽にご相談ください。



相模原市さくら

相模原市さくらさくプロジェクト
域コンソーシアム、(一社)相模
(公財)相模原市まち・みどり公
当協議会は、さくらの普及を
市民の皆様が、さくらに彩ら
まちづくりへ寄与することを目

子や孫の世代に引き継ぐ、 みどりの保全活動にご協力を!!

公益財団法人かながわトラストみどり財団

私たち財団は、多くの県民、企業、団体の皆様と協働して、みどり豊かなかながわの保全創造に貢献することを目的に活動しています。県内には、丹沢や箱根を中心とした“やまのみどり”、相模原台地、多摩丘陵から三浦半島に続く里山・樹林地などの“まちのみどり”があります。これらのみどりは、木材資源や水源を育み、レクリエーションの場を提供し、また、地球温暖化を抑える働きや多様な生き物の生息場所となるなど、私たちの生活にとって欠くことのできないものです。この大切な働きをもつ“みどり”の保全活動の一端をご紹介します。

“やまのみどり”の保全活動として、県民参加の森林づくりボランティア活動を、県内各地で実施しています。相模原市では、(公財)相模原市まち・みどり公社との共催で毎年数回実施しています。今年度は、5月に、宮ヶ瀬湖に近い緑区鳥屋で財団設立30周年記念イベントの併催で173名の参加のもと植樹を行い、7月にはその植樹地の下刈りを行いました。9月は青根で雑木林の整備を予定しています。

相模原市には県内の20%の森林があり、その大部分が水源地である津久井地域に存在します。相模原市の森林を豊かにすることは、県内の森林保全、特に水源の涵養に大きく貢献します。市民の皆様、力を合わせて森林づくりボランティア活動に汗を流してみませんか。

また、“緑の募金運動”を展開し、学校の緑化活動、地域の植樹活動や森林整備、丹沢地域の再生事業などさまざまな活動への支援を行っています。支援の輪をさらに広げるために、多くの方の緑の募金へのご協力をお願いします。



緑の募金活動

緑の募金 (H26ピックハママーケットにて)

県民参加の森林づくりボランティア活動



植樹
相模原市みどりの少年団も参加
(記念植樹の前で記念写真)(相模原市緑区鳥屋)



植樹作業



下刈作業

最後になりますが、“豊かなみどり”を保全し、子や孫の世代に引き継いでいく、財団のさまざまな活動への参加協力をお待ちしています。

お問合せ 公益財団法人かながわトラストみどり財団
住所：横浜市西区岡野2-12-20 Tel：045-412-2525
URL：http://ktm.or.jp

桜は相模原市のシティセールスにおける重点戦略に位置づけられており、当協議会は桜について次の5つの施策に取り組んでいます。

- 1 桜の植樹活動
- 2 桜守(桜の植栽活動や保全活動を行い、桜を守り育てる方)の育成
- 3 市内の桜の名所を巡る観光プロムナードの開発
- 4 桜の専門家を招いてのトークショーの開講
- 5 ホームページ等を通した市内の桜に関する情報発信

平成27年度からは相模原市の協働提案事業に採択され、これらの事業の実現に向けた取組みを進めています。

さくプロジェクト

推進協議会は、(公財)相模原・町田大学地産地消推進協議会、(公財)相模原市産業振興財団、相模原市観光協会、(公財)相模原市産業振興財団が協力して、平成25年7月に設立されました。協働して、さくらを愛しさくらに思いを寄せる相模原市を誇らしく思えるように魅力的なプロジェクトを実施しています。

市内の動植物を訪ねて

横山公園

紅葉するメタセコイアの並木

横山公園は横山丘陵に連なる公園で、野球場やテニスコート、プールなどがある総合運動公園です。

敷地の一部は神奈川県園芸試験場相模原分場の跡地であるため、総合運動公園には珍しく、園芸試験場時代に改良育成して栽培された植物が数多く残されているのが特徴です。

さて、今回ご紹介するのは、メタセコイアの並木です。これからの時期、紅葉した並木道をゆっくり散策してみたいでしょうか。

メタセコイアは1941年に日本における化石発見が発表され、その後1945年に中国の四川省で生きた個体が発見されたことから「生きた化石」として有名になりました。落葉樹木で、日本では別名アケボノスギと呼ばれています。

秋の紅葉の時期には葉がレンガ色に染まります。また、同時期に2cm程度の丸く小さな実が地面に落ちます。これはクリスマスリース等のクラフトの材料としても使用されています。

メタセコイアと似た樹木でラクウショウがありますが、メタセコイアの葉は小枝に対し並んで生える「対生（たいせい）」で、ラクウショウの葉は小枝に対し、互い違いになって生える「互生（ごせい）」であるため、見分けることができます。また、同じく見た目がよく似ている「セコイア」は、紅葉しません。

この並木道はベンチが設置されているため、お年寄りから赤ちゃんまで、幅広い世代の憩いの場となっています。



イルミネーション(12月予定)



メタセコイアの実

参考：(独)国立科学博物館資料

横山公園 住所：相模原市中央区横山5-11-50 Tel: 042-758-0886

▶アクセス JR相模線 上溝駅下車 徒歩7分

JR横浜線 相模原駅(南口)からバス「(日金沢経由)水郷田名行」で、「グリーンプール入口」下車徒歩1分
「(横山団地経由)上溝行」で、「横山団地」下車徒歩7分、または「上溝」下車徒歩7分

JR横浜線 淵野辺駅(南口)からバス「(上溝経由)田名バスターミナル行」、「水郷田名行」または
「(上溝経由)愛川バスセンター行」で「上溝」下車徒歩7分

相模原市まち・みどり公社が推進する「みどり豊かなまちづくり」を応援しています

広告

コカ・コーライーストジャパン株式会社 <http://www.ccej.co.jp>
COCA-COLA EAST JAPAN CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社) Coca-ColaはThe Coca-Cola Companyの登録商標です。

広告



2015年9月1日発行 / 編集・発行者・発行所：〒252-0236相模原市中央区富士見6-6-23 公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
TEL: 042-751-6623 FAX: 042-751-2345 (土・日・祝日 はお休みです)

本紙に対するご感想、ご意見をお寄せください。ホームページにもぜひアクセスを… <http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp>